

出前講座「北上川の洪水と土砂災害」

- 開催日時：平成27年10月20日（火）10時30分から11時30分
- 開催場所：花巻市立石鳥谷中学校
- 参加者：花巻市立石鳥谷中学校 3年生 40名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

10月20日（火）防災教育の一環として出前講座を実施し、花巻市立石鳥谷中学校3年生40名が参加しました。

この出前講座は、石鳥谷中学校3年生が「花巻・石鳥谷に生きる」というテーマのもと、各クラス毎にテーマを決めて総合学習を行うもので、「防災」をテーマにした3年3組からの要請で開催され、当事務所調査第一課の山影課長が「北上川の洪水と土砂災害」と題して講義しました。

まず最初に、北上川の洪水に関する内容として、近年の降雨の傾向についてグラフを使って解説しました。そして、平成25年8月9日に岩手県内を襲った洪水や、鬼怒川の堤防が決壊するなど大きな被害をもたらした先月の関東・東北豪雨について、写真を使いながら概要を説明しました。

次に、石鳥谷中学校の生徒の皆さんにとって身近となる、花巻市石鳥谷地区の浸水想定区域について、実際に洪水はん濫シミュレーションを動かしながら、北上川の堤防が決壊した場合にどのエリアまで浸水するのか説明するとともに、洪水時の避難行動にあたっての目安となる「はん濫危険水位」などの水位の設定の考え方や、花巻市における基準観測所毎の水位の設定状況について説明しました。

併せて、岩手河川国道事務所が情報発信している河川の防災情報について、当事務所ホームページを用いて紹介するとともに、気象庁が発表する大雨警報や土砂災害警戒情報の危険度の高さについて、昨年9月に発生した広島市の土砂災害の事例に触れながら解説しました。

最後に身近な情報として、花巻市防災マップを用いて、花巻市内で土砂災害が発生する可能性がある場所についても、説明しました。

生徒の皆さんからは「八重畑は大丈夫ですか」「好地は大丈夫ですか」などの質問があり、自分達が住んでいる地域が浸水想定区域に入っているのか、地図を食い入るように見つめていました。また一緒に聴講していた先生からは「気象庁と国土交通省がそれぞれ発表する災害情報の違い、役割分担について」の質問があり、災害に対する関心の高さが伺えました。

最後に「洪水はん濫シミュレーションを使って説明していただき、とても分かりやすかった。今日の学習をまとめて、後日文化祭で展示するので、見に来て欲しい」との感想をいただきました。

今日の出前講座を通じて、自分達の住んでいる地域がどんな場所なのか、どんな危険が潜んでいるのかを知り、気象情報や災害情報に耳を傾けながら、災害から自らの身を守るためにどう行動すべきかを考えるきっかけになれば幸いです。



講義をする山影調査第一課長と、石鳥谷中学校3年生の皆さん